

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービスアニマートて/

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員以上の受入れは行っていない。	死角になるところがある為、設備配置を工夫し、スペース確保に努める。
	2	職員の配置数は適切である	○		常勤で4名配置している	職員の人れ替わりが激しい為、サポート体制に力を入れ、職員の安定に整える。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		立入禁止エリアには赤色テープをひき、全体に周知している。	玄関の2段の段差については必要な際スロープの設置を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々清掃、事業所内の美化にあたっている。	今後も継続していき、感染症対策なども徹底していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日朝礼を行い、振り返りを行っている。	今後も継続していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表をもとに、話し合いを行っている。	今後も継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			発信いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		他事業所スタッフから随時改善点の聞き取りをし、話し合いのもと改善にあたっている。	第三者が来所できるイベントの企画。随時聞き取りを行い、業務改善にあたる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今後、内部外部問わず積極的に研修に参加していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシートを随時更新している。	今後も継続していき、必要に応じて活用していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後、アセスメントシートに適応行動の欄を設ける。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童の様子に合わせて必要な項目を選択している。	地域支援については、外部交流イベントを企画するなどし、支援の充実にあたっていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画の内容を各スタッフ理解した状態で支援にあたっている。	今後も継続して、計画に基づいた支援を行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムの話し合いには職員全員が参加している。	今後も継続していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1回、活動プログラムを見直しを行っている。	保護者や利用児童の意見を積極的に取り入れていく。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別、集団に分けてそれぞれの課題を明確にしたうえで計画の作成を行っている。	随時支援会議を行い、見直しを行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員全員参加で朝礼を行い、1日の流れを明確にした後、支援にあたっている。	今後も継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になった点について随時振り返りを行い、改善に繋げている。	時間を設け、定例化していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の支援記録シートにて記録を行っている。	記録するものの、共有できていないことが多い為、全体会議にて共有、改善に繋げていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		必要時に行っている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、長期支援にあたっている職員が出席している。	今後も引き続き、児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員も参加していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後、子育て支援センターなどに積極的に足を運んでいく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		卒入学の際、事業所での様子などをお伝えしている。	今後も継続して行い、情報共有の際分かりやすいよう、書類の整理等を日々行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子ども部会などを通して他事業所と交流し、相談や助言を受けている。	他事業所のイベントなどにも積極的に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		事業所内演奏会等、外部交流ができるようなイベントを企画していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども部会に必ず参加している。	今後は管理者だけでなく、職員も参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時を中心に、保護者と情報共有をしている。	保護者会なども取り入れ、情報共有にあたる。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		家庭での状況などを聞き取り、支援を行っている。	今後も継続して家族支援を行い、ペアレントトレーニングの研修にも参加していく。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		主に契約時、丁寧で分かりやすい説明を心がけている。	今後も継続していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の内容について、分かりやすい説明を心がけ、同意を得ている。	今後も継続していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には随時対応し、こちらからも積極的に聞き取りを行うようにしている。	日頃から相談しやすい環境づくりを今後も意識していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親の会のイベントに積極的に参加。	保護者会をあまり開けていない為、今後、定期的に開催していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		申し入れに対し、速やかに所内にて会議の機会を設け、迅速な対応に心がけている。	今後も継続し、心がけていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回、会報を発行している。	今後、SNSなども活用していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫を使用。研修も積極的に行っている。	今後も継続して、個人情報の取扱いに注意していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ニーズに合わせて随時行っている。	連絡帳だけでなく、保護者の生活スタイルに合わせてメールや電話なども活用していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○		ファミリーコンサート開催。ハロウィンでは近隣住民に協力していただき、おやつをもらうイベントを企画した。	今後、事業所内にも来ていただけるような季節のイベントを企画していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		会報などを通して周知している。	今後も継続して行い、情報を随時更新していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度、活動プログラムに避難訓練を取り入れている。	今後、消防署などにも協力していただき、より内容の濃い避難訓練を実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシートに記入していただき、随時保護者に確認をとっている。	アセスメントシートを随時更新していき、最新の情報を職員間で共有するようにする。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供には十分に注意している。現在医師の指示書が必要な児童は在籍していない。	必要に応じて対応していく。食事提供には今後も細心の注意を払う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し、職員全員が確認。確認印を押すことも徹底している。	数は少ない為、危機管理意識の徹底、ヒヤリハットを作成していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部研修を通して虐待対策を実施。	今後も虐待の防止につとめる。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		生徒の状況に応じ随時支援計画に記載している。	今後も随時会議にて検討していき、必要な場合には保護者と十分に話し合った後決定していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービスアニマートてんろく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員以上の受入れは行っていない。	死角になるところがある為、設備配置を工夫し、スペース確保に努める。
	2	職員の配置数は適切である	○		常勤で4名配置している	職員の入れ替わりが激しい為、サポート体制に力を入れ、職員の安定に繋げる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		必要に応じて対応している。	玄関の2段の段差については必要な際スロープの設置を検討している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日朝礼を行い、振り返りを行っている。	今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表をもとに、話しあいを行っている。	今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公開いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		他事業所スタッフから随時改善点の聞き取りをし、話し合いのもと改善にあたっている。	第三者が来所できるイベントの企画。随時聞き取りを行い、業務改善にあたる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今後、内部外部問わず積極的に研修に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートを随時更新している。	今後も継続していき、必要に応じて活用していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後、アセスメントシートに適応行動の欄を設ける。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムの話し合いには職員全員が参加している。	今後も継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1回、活動プログラムを見直しを行っている。	保護者や利用児童の意見を積極的に取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		支援の週案を作成し、時間に応じて予定の設定を行っている。	今後も継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別、集団に分けてそれぞれの課題を明確にしたうえで計画の作成を行っている。	随時支援会議を行い、見直しを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員全員参加で朝礼を行い、1日の流れを明確にした後、支援にあたっている。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になった点について随時振り返りを行い、改善に繋げている。	時間を設け、定例化していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の支援記録シートにて記録を行っている。	記録するものの、共有できていないことが多い為、全体会議にて共有、改善に繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要時に行っている。	今後も継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		随時成長段階に合わせて行っている。	今後も継続していく。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、長期支援にあたっては職員が出席している。	今後も引き続き、児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員も参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に送迎時に担任と情報共有を行い、必要に応じて電話等も行っている。	今後も密に連絡を取り合っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在対象生徒は在籍していないが、今後受け入れの場合は随時連絡をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		積極的に連絡を取るよう心がけている。	今後も必要に応じて連絡をとっていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在対象生徒は在籍していないが、情報提供の準備は行っている。	引き続き書類整理、情報提供の準備を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連絡を取り合っている。	今後、研修に積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		事業所内演奏会等、外部交流ができるようなイベントを企画していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		子ども部会に必ず参加している。	今後は管理者だけでなく、職員も参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時を中心に、保護者と情報共有をしている。	保護者会なども取り入れ、情報共有にあたる。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭での状況などを聞き取り、支援を行っている。	今後も継続して家族支援を行い、ペアレント・トレーニングの研修にも参加していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		主に契約時、丁寧に分かりやすい説明を心がけている。	今後も継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には随時対応し、こちらからも積極的に聞き取りを行うようにしている。	日頃から相談しやすい関係性づくり、環境づくりを今後も意識していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会のイベントに積極的に参加。	保護者会をあまり開けていない為、今後、定期的を開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		申し入れに対し、速やかに所内にて会議の機会を設け、迅速な対応に心がけている。	今後も継続し、対応にあたる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回、会報を発行している。	今後、SNSなども活用していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫を使用。研修も積極的に行っている。	今後も継続して、個人情報の取扱いに注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ニーズに合わせて随時行っている。	連絡帳だけでなく、保護者の生活スタイルに合わせてメールや電話なども活用していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ファミリーコンサート開催。ハロウィンでは近隣住民に協力していただき、おやつをもらいイベントを企画した。	今後、事業所内にも来ていただけるような季節のイベントを企画していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		会報などを通して周知している。	今後も継続して行い、情報を随時更新していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度、活動プログラムに避難訓練を取り入れている。	今後、消防署などにも協力していただき、より内容の濃い避難訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		アセスメントシートに記入していただき、随時保護者に確認をとっている。	アセスメントシートを随時更新していき、最新の情報を職員間で共有するようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		生徒の状況に応じて随時支援計画に記載している。	今後も随時会議にて検討していき、必要な場合には保護者と十分に話し合った後決定していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供には十分に注意している。 現在医師の指示書が必要な児童は在籍していない。	必要に応じて対応していく。 食事提供には今後も細心の注意を払う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し、職員全員が確認。 確認印を押すことも徹底している。	数は少ないが、危機管理意識の徹底、ヒヤリハットを作成していく。